

千葉県看護協会 「令和3年度看護職の再就業者実態調査」概要

就職先決定の決め手は「立地（通勤に便利な場所等）」55.3%、「勤務時間」45.5%
「看護領域・看護内容・業務内容」41.5%であった

調査の概要

調査目的	再就業した者の実態を把握し、今後の再就業促進に向けた支援方法のあり方を検討する
調査対象	千葉県在住の令和2年度千葉県ナースセンター登録の再就業者 (臨時雇用にて就業した者を除く)
調査時期	令和3年10月25日 ~ 令和3年11月12日
調査方法	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収
回収状況	配布数：219名 回収数：94名 回収率：42.9%

調査結果のポイント

1. 回収状況と回答者の属性

- 今年度は219名に配布し、回収数は94名で、回収率は42.9%であった。前年度は、152名に配布し、回収数は76名で、回収率は50.0%だった。比較し、7.1ポイント減少した。
- 就職時の年齢層は、「40代」38.3%、「50代」26.6%、「30代」18.1%の順で50代が増加した。未就業者は「40代」「50代」「30代」の順に多く、転職者は「40代」が最も多く、同率で「30代」「50代」であった。
- 性別は、「女性」96.8%、「男性」2.1%であった。
- 居住地区は、「千葉地区」26.6%が最も多く、次いで「船橋地区」12.8%、「市川地区」「東葛地区」11.7%の順であった。

2. 就業時の状況

- 就職時の就業状況は、未就業から再就業した者が54名(57.4%)、転職者が39名(41.5%)で、前年より転職者の割合が13.8ポイント減少した。
- 未就業者のブランク期間は、「6ヶ月未満」40.7%が最も多く、「6ヶ月以上1年以下」14.8%、「1年以上2年以下」11.1%の順に多かった。
- 勤務先の施設種別は、「病院」33.0%、「福祉系施設」16.0%、「診療所」9.6%の順で、前年度と比較して福祉施設の割合が10.3ポイント減少した。
- 雇用形態は、「正職員」43.6%が最も多く、前年度より1.1ポイント減少した。次いで「非常勤」37.2%で前年度より2.31ポイント減少した。「派遣職員」5.3%は前年度より4ポイント増加した。
- 働き続けられる理由は、「通勤時間が自分の生活スタイルに合っている」50.0%、「通勤に便利」50.0%、「休暇がとりやすい」29.5%の順に多かった。

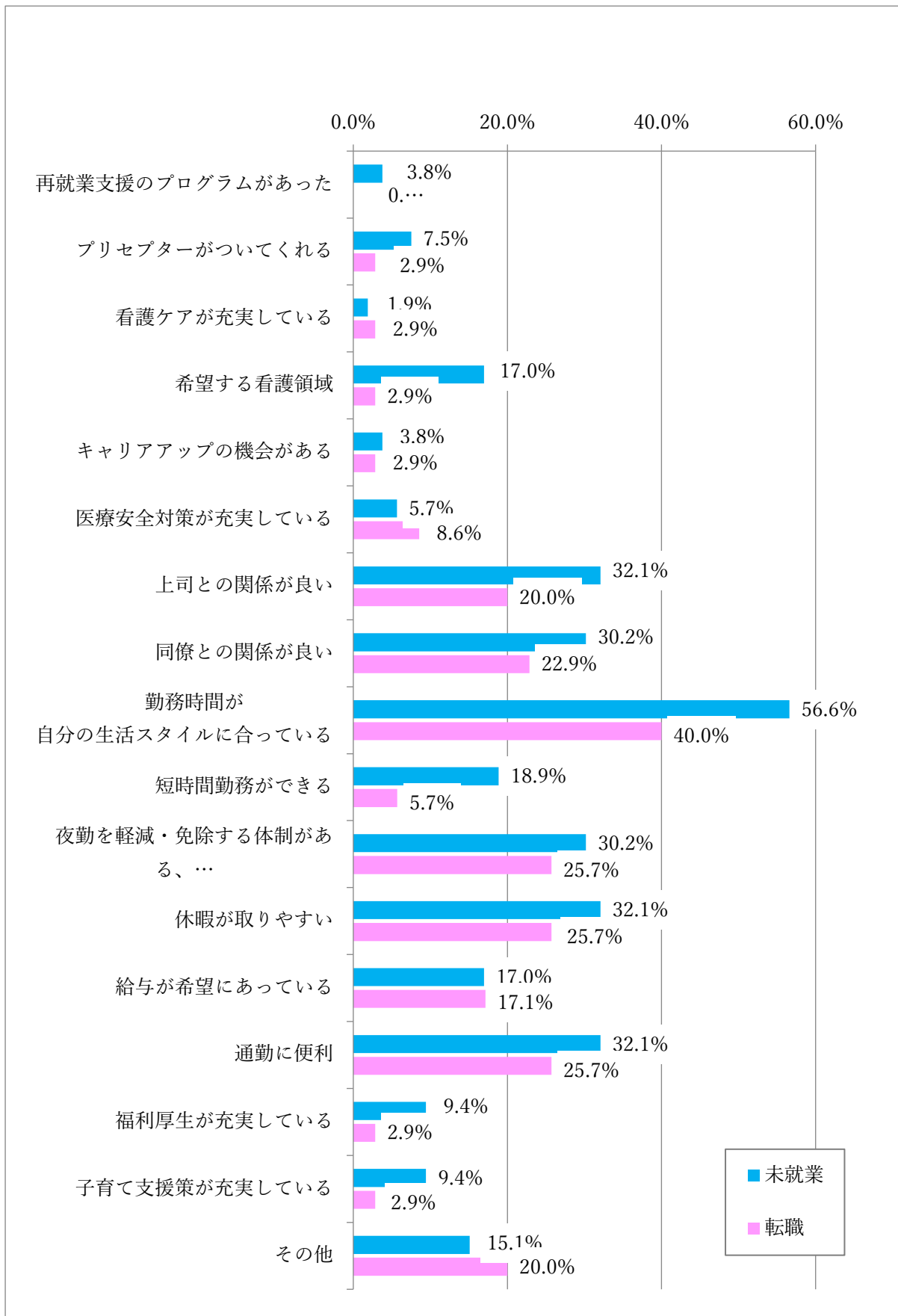


図 1.働き続けられている理由（未就業、転職別）

3. 再就業のきっかけ

○再就業のきっかけは、「今までに得た職業経験や技術・資格を活かす」53.2%が一番多く、次いで「生活費のため」48.9%「社会に出たい」28.7%であり、前年度と同様であった。

4. 就職活動で利用した職業紹介所等について

○就職活動で活用した職業紹介所等は、「千葉県ナースセンター」66.0%と最も多く、次いで「公共職業安定所」46.8%、「民間の就職あっせん業者」28.7%であった。

○就職先の決定では、「千葉県ナースセンター」が36.2%と最も多く、次いで「公共職業安定所」11.7%、「民間の就職あっせん業者」10.6%であった。

5. 就職先決定の決め手

○就業先決定の決め手は、「立地（通勤に便利な場所等）」55.3%、「勤務時間」45.7%、「看護領域・看護内容・業務内容」41.5%の順に多く、前年度と比べて1位と2位が入れ替わった。

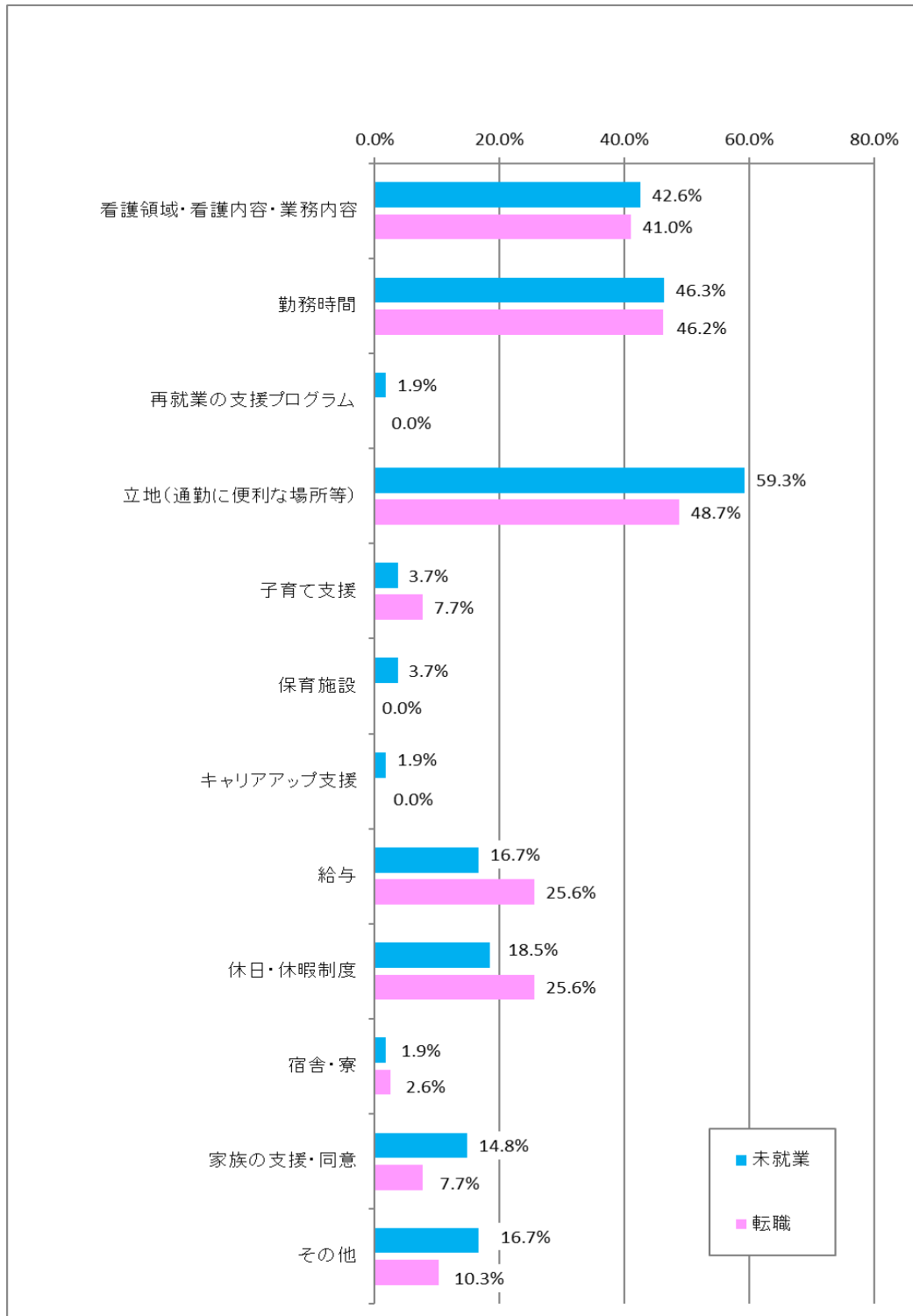


図 2.就職先決定の決め手（未就業、転職別）

6. 再就業講習会（復職支援セミナー等）について

○再就業講習会（復職支援セミナー等）の受講状況は、「受講した」23.4%、「受講しなかった」76.6%で、「受講した」人の内訳は、未就業が90.9%、転職が9.1%であった。受講した場所は、「千葉県ナースセンター・看護協会」が90.9%を占めていた。受講者の満足度は「満足」68.2%、「やや満足」27.3%であった。

7. 離職看護師等のナースセンターへの届出制度について

○届出制度について、「知っている」60.6%、「知らない」39.4%であった。

○届出制度を知ったきっかけは、「千葉県看護協会ホームページ」42.1%、「所属していた病院等」40.4%、「機関紙 千葉県看護協会 看護ちば」17.5%の順であった。